

3 年生保護者様

高丘小中一貫教育校
明石市立高丘中学校
校長 米村 貴之

「全国学力・学習状況調査」の結果について（ご報告）

4 月 18 日（木）に 3 年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」が行われました。本校の分析ができましたので、ご報告させていただきます。個人の結果につきましてはお子様にお渡しさせていただいております。なお、本調査での測定は学力の一部であり、学習活動の一側面であることから本校の平均正答率は公表せず、文章表記としております。明石市の調査報告が 10 月中旬以降のためご報告がこのような時期になります。

Ⅰ 調査結果について

（Ⅰ）教科に関する結果【平均正答率（％）】

教 科	本校	明石市	兵庫県	全 国
国語	上回っている	59%	58%	58.1%
数学	上回っている	56%	55%	52.5%

① 国語

○良点：全体的に全国・県の平均値を上回る良い結果であった。知識及び技能についても、思考、判断、表現に関する問いについても大きく上回っているものもあり、概ね、基本的な力が身についていると考えられる。また、無回答率が全国・県の平均値より低いことから、正解・不正解に関わらず、前向きに解答しようとする意志を持っている生徒が多いと思われる。

○課題：今回の結果で特徴的なのは、知識・技能に関する「行書の特徴を理解しているか」という書写に関する問いで、全国・県を下回るものがあったことである。授業でも取り上げる機会を増やし、知識を増やす必要がある。また、説明的文章を整理して読むことを苦手としている様子もあるので、読む機会を増やし読み慣れることが大切だと思われる。

② 数学

○良点：全体的に全国・県の平均値に対して上回る良い結果であった。知識及び技能についても思考、判断、表現に関する問いについても、全国・県の平均値に対して上回っており、概ね、基本的な力が身についていると考えられる。

○課題：一方、記述式の問いを中心に正答率は全国・県の平均値に対して上回っているものの、無回答率においては全国・県の平均値よりも高い問題が多いことから、自分の回答に自信が持てない生徒が多いと思われる。この点においては、普段の生活の中から自分の考えに自信を持って相手に伝える機会を増やすことが必要であると考えられる。

【ま と め】

2 教科ともに全国平均を上回っており、学習内容が概ね理解できているという結果でした。

今後の学習においても、単純に知識を教え込むのではなく、基礎基本の定着を確実にしながらも、生徒が楽しいと思えるような授業、深い学びを得られるような授業を展開致します。予測困難と言われる時代を生き抜けるように、得られた知識を活用しながら課題を解決し、創造力と表現力豊かな人材を育ててまいります。

2 生徒質問紙の回答結果について ()は全国値

① 生活について

○良点：朝食を毎日食べている 93.1% (91.2%)、決まった時間に起床している 97.4% (92.3%)、決まった時間に就寝している 85.4% (80.7%)。多くの生徒は基本的な生活習慣は身に着いている。

② 自己について

○良点：人の役に立つ人間になりたい 94.8% (95.2%)。自身の考えで決め行動をし、社会に貢献したいと考えている。

○課題：自分に良いところがある 87.9% (83.3%)、将来の夢や目標を持っている 66.4% (66.3%)。自己理解や自分に自信がない生徒、将来に悩む生徒がいる。

また人が困っているときは、進んで助けています 86.2% (90.1%) で、若干、積極的な行動を苦手になっている。

③ PC・タブレット・スマホなどの機器について

○現状：学校の授業以外で、勉強のために使用している時間が1時間以上は 20.6(16.6%)、30分未満が 60.3%(63.2%)。ゲームやSNS、動画視聴に利用している時間は、2時間以上 50.1%(55.9%)。家庭でのルールを守っている 69.8%(72.2%)。帰宅後の時間の使い方や、家庭でのルール、機器の使い方など心配な部分が見られた。

④ 学習について

○良点：平日の勉強時間は1時間以上 67.3% (64.3%)

平日の勉強に取り組む時間が全国平均よりわずかに上回っている

○課題：休日の勉強時間が1時間より少ない、全くしない 41.4% (36.2%)

休日の一日当たりの勉強に取り組む時間が全国平均よりも下回っている。学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている 67.3% (77.9%) 日常的に復習を習慣化している生徒の割合も、全国平均よりやや下回っている。

授業を受ける際に、自分の考えをうまく伝えるように資料や文章、話しの組み立てなどを工夫して発表していた 48.3% (64.8%)、課題の解決に向けて、自分で考えて自分から取り組んでいた 68.1% (81.3%)

自らの考えを表現し発表する学習や、課題を設定し学んだことを活かす学習の機会をもっと経験させるべきだと感じる。

【まとめ】

学校・家庭・地域が落ち着いた状況の中、生徒は周囲の大人たちに見守られながら前向きに成長していく様子が感じ取れます。今後とも家庭・地域と連携し、生徒の健全育成に向けて、基本的な生活習慣の充実を図り、生徒理解を深め、生徒との信頼関係を築き、自己肯定感を高めるきめ細かい対応と支援を行ってまいります。